

世界史 B

1

次の文章を読み、下の設問に答えよ。

「歴史記述の祖」と呼ばれる (1) の著した『歴史』は、アケメネス朝の建国に先立つ国々の興隆から、^(a)ペルシアのエジプトやスキティア (スキタイ) への遠征、^(b)国内整備とその安定化、^(c)ギリシアへの遠征^(d)などを経て、ギリシアとの大規模な戦争の終結までを叙述した長大な歴史物語である。

生没年さえ判然としない (1) の生涯は謎に包まれているが、彼が小アジアのハリカルナッソス出身であり、西アジアや北アフリカ、トラキアなどへの調査旅行での見聞に基づいて『歴史』を書いたことは確かであると考えられている。また訪問先のアテネでは、『オイディプス王』の作者として知られる悲劇詩人 (2) や、ペリクレス将軍^(e)と交流を結んだことが知られている。

全9巻からなる『歴史』には、各地の地理、習俗、宗教などについての調査結果が具体的に記述されているが、特に重点が置かれているのは、(3) 植民市の反乱を皮切りとした、ギリシアへの陸海からの波状的侵攻の様子や、最後にペルシア艦隊の壊滅的敗北^(f)をもって終わるペルシアとギリシアとの戦争^(g)の経過である。

問1 文中の空欄 (1) ~ (3) にあてはまる人名または語句を答えよ。

問2 下線部 (a) に関連して、次の(1)~(4)の問いに答えよ。

- (1) アケメネス朝ペルシアを建国した王は誰か、答えよ。
- (2) 「アケメネス朝の建国に先立つ国々」より以前に、オリエントは「世界帝国」によって統一されていたが、紀元前7世紀半ばに、この世界帝国の版図を最大にした王は誰か、答えよ。
- (3) アケメネス朝はもともとイラン系のある国から独立し、ついにはその国を併合した。その国の名前を答えよ。
- (4) 「アケメネス朝の建国に先立つ国々」のうち、世界で初めて金属貨幣を鋳造した国の名前を答えよ。

問3 下線部 (b) に関連して、ペルシア人の信仰したゾロアスター教は火や光を崇拝するので「拝火教」とも呼ばれるが、(1) 光明神であるその主神を何というか。また(2) 中国に伝わったゾロアスター教は何と呼ばれるか、漢字2文字で答えよ。

問4 下線部 (c) に関連して、紀元前のエジプトとその周辺について書かれた説明として、もっとも適切なものを、次のア~エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. スーダン地方東部のクシュ人は前8世紀半ばにエジプトを征服したが、彼らは神殿やピラミッドをつくり、製鉄技術ももっていた。
- イ. 新王国の時代にシリアからの遊牧民ヒクソスの侵入を受けた。
- ウ. アメンホテプ4世はテル=エル=アマルナに都を移し、太陽神アモンへの信仰を強制した。
- エ. パピルス草から作られた一種の紙に、象形文字の1つである神聖文字が書き込まれた。

問5 下線部(d)に関連して、次の(1)、(2)の問いに答えよ。

- (1) アケメネス朝の国内整備は、内乱に乗じて王位を奪い取ったとされる第3代王によって進められたが、この王は誰か、答えよ。
- (2) (1)の王は、地方の治安維持や徴税にあたる知事を監視するために、王直属の巡察使を密かに派遣したといわれるが、その巡察使を何というか、答えよ。

問6 下線部(e)に関連して、ペリクレスについて書かれた文として適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. ペリクレスの指導の下に、成年男性市民からなる民会において政策が決定され、一部を除いた役職が一般市民から抽選で選出されるようになった。
- イ. ペリクレスは地縁に基づく区を基礎とする10部族制や500人評議会を創設することで民主政の基盤を固めた。
- ウ. ペリクレスは、貴族と平民間の不平等を是正するため、慣習法を成文化したと伝えられる。
- エ. ペリクレスは、身体を抵当とする借財を禁止し、負債を帳消しにし、財産の多少に応じた国政参加の権利義務を定めるなどの改革を行った。

問7 下線部(f)に関連して、ペルシア海軍を狭い水道に誘い込みこれを撃破する作戦を立案した将軍は誰か、答えよ。

問8 下線部(g)に関連して、この戦争について述べた文として誤っているものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. 武器を自弁できず、歩兵として参戦できなかった市民が船の漕ぎ手として活躍し、ペルシア軍に大損害を与えた。
- イ. 盾と槍で武装した歩兵部隊が密集隊形を組んでペルシア軍に激突した。
- ウ. この戦争の後、とりわけ地方の知事たちの自立・反乱が頻発するようになり、ペルシアは衰退した。
- エ. 扇動政治家が数多く出現して人々を鼓舞することでデロス同盟の結束が強くなった。

次の文章を読み、下の設問に答えよ。

16世紀から17世紀にかけて、ヨーロッパでは自然科学上の新たな発見・発明が相次いだ。そうした出来事は実は宗教と深い関わりがあった。ここでは天文学と宗教との関連に焦点を当てて、その歴史を古代から振り返ってみよう。

「万学の祖」と呼ばれる（ 1 ）は、地球は宇宙で不動の中心に位置し、月の外側の世界が円運動をしているという一種の天動説を唱えた。古来、（ 1 ）以外にも天動説を唱えた学者はいたが、2世紀のアレクサンドリアで活躍し、『天文学大全』を著した（ 2 ）が天動説を体系化した。

（ 1 ）や（ 2 ）の唱えた天動説は、長くキリスト教会に受け入れられたが、やがてキリスト教世界の内側から疑問視されるようになった。天動説に十分に説得されなかった人々が、神によって創造された宇宙の真の姿を知ろうとしていた。16世紀半ばには、キリスト教の聖職者でもあったコペルニクスが、『天球回転論』において天動説の誤りを指摘し、地動説の合理性を訴えた。やがてコペルニクスの説を支持した人々が現れるようになる。ドミニコ会修道士としての経験を持ちながらも地動説を頑強に唱え、また教会公認の世界観に異を唱えたことで火刑に処されたジョルダナーノ＝ブルーノや、自ら製作した望遠鏡を使って木星の衛星、金星の満ち欠け、太陽の黒点などを発見・観測することで地動説の妥当性を確信した（ 3 ）などである。（ 3 ）は敬虔なキリスト教徒であり、高位聖職者とも親しかったが、地動説を支持し、『天文対話』を書いたことで宗教裁判にかけられた。当時、天動説を否定する根拠となる観測事実が確認されつつあったにもかかわらず、人々が地動説を認めようとしなかったのは、それを裏づける決定的な証拠が観測されていなかったからである。実際、ティコ＝ブラーエのような優れた天文学者でさえ、コペルニクスの地動説を認めなかった。

だがティコの助手（ 4 ）は、地動説の妥当性を前提に、ティコが遺した膨大な観測結果に基づいて惑星運行の三法則を導き出した。それによって、惑星の軌道は楕円であり、惑星は等速で公転しているわけではないことなどを明らかにした。その後（ 5 ）は自ら開発した反射望遠鏡を使って天体を観察し、（ 4 ）が残した諸問題を「万有引力の法則」によって解明した。（ 5 ）は天文学者・物理学者であると同時に、神学者かつ錬金術師でもあった。地上から宇宙にいたるまで統一的に説明した彼の理論は、やがて高く評価されるようになった。

このように、かつて天文学とキリスト教とは不即不離の関係にあった。宇宙を神による創造物と意識せずに天文学を研究するようになったのは、古典的な宇宙進化論者の一人（ 6 ）が最初と考えられている。（ 6 ）は新著を皇帝になる以前のナポレオンに献呈した。ナポレオンが神についての記述がそこには見られないと指摘すると、（ 6 ）は自分の理論にそうした仮説は不要だと答えたという。

問1 文中の空欄（ 1 ）～（ 6 ）にあてはまる人名を答えよ。

問2 下線部(a)に関連して、この時代に起こった出来事として適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. 中国初の実測による地図『皇輿全覧図』が完成した。
- イ. ウルグ=ベクがサマルカンドに天文台を建造した。
- ウ. ヨーロッパでは魔女狩りがさかんに行われ、多くの者が犠牲になった。
- エ. 郭守敬らがイスラーム天文学の影響下に授時暦を作成した。

問3 下線部(b)に関連して、17世紀には近代的合理主義の思想や学問が確立されて、自然界を説明する研究が急速に進んだが、そうした出来事を何というか、漢字4文字で答えよ。

問4 下線部(c)に関連して、この修道会と同様に、禁欲を旨として民衆の中に分け入ることで人々の施しを受けて修行する、13世紀のイタリアに創設された^{たくはつ}托鉢修道会の名を答えよ。

問5 下線部(d)に関連して、(3)の人物は、木星の衛星に名前をつけたが、その名はイタリア・トスカナ地方の富裕な金融業者から取ったものである。このことについて、(1)一族からローマ教皇を輩出したことでも知られるこの家名を答えよ。また(2)この家系出身のローマ教皇として適切なのは誰か、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. レオ10世 イ. グレゴリウス7世 ウ. シャルル9世
- エ. ヴィットーリオ=エマヌエーレ2世

問6 (4)の人物は、若い頃ルター派の神学者になることを志した。次のア～エの文のうち、ルターについて書かれたことがらとしてもっとも適切なものを1つ選び、記号で答えよ。

- ア. 救済は善行によってもたらされるとした。
- イ. チューリングゲンでドイツ農民戦争を指導した。
- ウ. 救済されるか否かは予め定められているとした。
- エ. 『新約聖書』をドイツ語に翻訳した。

問7 (5)の人物が乗り越えようとした先達にフランスのデカルトがいる。疑う自己の存在の確実性について述べたことで知られるデカルトの言葉を13字以内で答えよ。

問8 同じく(5)が「万有引力の法則」を論じた1687年刊行の主著は何か、答えよ。

問9 下線部(e)に関連して、ナポレオンが皇帝になる以前の出来事の記述として適切なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. イギリスの医師ジェンナーが種痘法を開発した。
- イ. ドイツの物理学者レントゲンがX線を発見した。
- ウ. イギリスの博物学者ダーウィンが進化論を提唱した。
- エ. イギリスの化学・物理学者ファラデーが電磁気学の基礎を築いた。

次の文章を読み、下の設問に答えよ。

19世紀半ば、欧州諸国が政治や社会の混乱を経験するなか、他国に先んじて工業化を進めたイギリスは、^(a)「世界の工場」として繁栄の絶頂にあった。(1) 女王治下の1851年、延べ600万人以上が入場したロンドン万国博覧会が開かれ、国内外にイギリスの近代工業力の成果を誇示した。人々の豊かな生活は政治の安定を生み、1860年代には、(2)・自由党の二大政党が総選挙の結果に基づいて交替して政権を担当する、典型的な議会政党政治が成立した。1860～80年代を中心に、(2)・自由党の両党の政権によって重要な諸施策が実現された。まず、1867年に第2回選挙法改正、84年に第3回選挙法改正が行われた。1871年には労働組合が合法化されて、^(b)体制内への労働大衆の組み込みが進んだ。1884年には知識人を中心とした改良主義的な社会団体である^(c)フェビアン協会が結成された。

イギリスでは1873年から不況が長期化し、国民の多くが海外の植民地帝国を重視するようになった。(2) のディズレーリ首相は、1875年に(3) 会社の株を買収し、77年には(1) 女王を皇帝とするインド帝国を成立させた。次いで、自由党の(4) 首相は1882年に(5) を実質的な保護国とした。そして、1895年に植民地相になった(6) の下で南アフリカ植民地が拡大される。一方、イギリス帝国の結束を固めるため、^(d)自国からの移民が中心の植民地には自治権を与える政策も推進された。

問1 文中の空欄(1)～(6)にあてはまる人名または語句を答えよ。

問2 下線部(a)に関連して、19世紀半ばの出来事ではないものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. クリミア戦争
- イ. フランス第二帝政の成立
- ウ. ウィーンでの三月革命
- エ. ドレフュス事件

問3 下線部(b)に関連して、第2回選挙法改正あるいは第3回選挙法改正の説明として誤っているものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. 第2回選挙法改正では、都市の工業労働者の上層に選挙権が拡大された。
- イ. 第3回選挙法改正では、全ての21歳以上の男性の普通選挙権が認められた。
- ウ. 第2回選挙法改正では、有権者が135万人から247万人に増えた。
- エ. 第3回選挙法改正は、自由党内閣の下で成立した。

問4 下線部(c)に関連して、同協会や労働組合が労働者独自の政党を求めて、1900年に労働代表委員会が結成され、06年の総選挙で29名を当選させたのを機に改名して議会政党となった。その名称を答えよ。

問5 下線部(d)に関連して、もっとも早くイギリスの自治領となった国を、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア. カナダ連邦 イ. オーストラリア ウ. ニュージーランド エ. 南アフリカ連邦

次の文章を読み、下の設問に答えよ。

キューバでは、親米的な独裁政権が続いていたが、1959年、(1) が指導する革命運動が成功した(キューバ革命)。首相となった(1) が農地改革、アメリカ系の砂糖企業の接収を断行すると、1961年1月、アメリカの(2) 政権はキューバと断交した。同月にアメリカ大統領に就任したケネディ大統領^(a)がキューバの革命政府の武力打倒を支援して失敗すると、キューバは社会主義宣言を発表して、ソ連寄りの姿勢を示した。

1962年、ソ連がキューバにミサイル基地を建設すると、それに反発したケネディがその撤去を求めて、キューバを海上封鎖して緊張が高まった(キューバ危機)。最終的に、ソ連の(3) 第一書記がミサイル撤去に応じ、米ソ核戦争の勃発は回避された。その後、核軍備の管理が進んだ。^(b)

1963年にケネディが暗殺された後、後任の大統領となったジョンソンは、ベトナムへの軍事介入を拡大した。^(c)しかし、ソ連と中国の援助を受けた北ベトナムと南ベトナム解放民族戦線は持ちこたえた。ベトナムでの戦争が長期化するにつれて、アメリカでは多くの若者が反戦運動に参加する一方、黒人差別に反対して市民権を要求する(4) 運動も盛んになった。1964年には(4) 法が成立したが、68年に(4) 運動の指導者である(5) 牧師が暗殺され、混乱が激化した。

その後1973年にベトナム和平協定が成立し、ニクソン大統領はアメリカ軍の南ベトナムからの撤退を実現させたが、72年の大統領選挙における民主党本部に対する盗聴事件の発覚により74年に辞任に追い込まれる。^(d)一方、和平協定成立後、北ベトナムが優勢となり、1975年には南ベトナム解放民族戦線とともに南ベトナムの首都の(6) を攻略、陥落させた。翌1976年、南北を統一したベトナム社会主義共和国が成立した。

問1 文中の空欄(1)～(6)にあてはまる人名または語句を答えよ。

問2 下線部(a)に関連して、同大統領が、1961年にキューバ革命の波及を恐れて、ラテンアメリカ諸国との協力・団結を目指した計画を提案したが、その計画の名称を、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア.「進歩のための同盟」 イ.「偉大な社会」計画 ウ.「四つの現代化」 エ.「持続可能な発展」

問3 下線部(b)に関連して、1963年にアメリカ、イギリス、ソ連の3国が、地下核実験を除き、大気圏内・宇宙空間・水中での核実験を禁止する条約を結んだ。この条約の名称を、日本語の通称またはアルファベットの略語で答えよ。

問4 下線部(c)に関連して、ジョンソン政権は、南ベトナムに50万人を超える地上兵力を派遣する一方、北ベトナムに大規模爆撃を行っているが、この爆撃を何というか、漢字2文字で答えよ。

問5 下線部(d)に関連して、この事件の名称を答えよ。